



田中 基康 議員
MOTOYASU TANAKA



童謡赤とんぼ・露風の発信パワーアップ／子育て支援としてのデジタル人材育成

問 たつの全国ブランドへの目玉として、童謡赤とんぼ、三木露風と生母碧川かたを題材としたドラマ化・映画化をプロジェクト化すべき。その一体的な発信を、ドラマ化映画化に留まらず、訪れたくなる住みたくなる、たつの戦略的シティプロモーションに結びつけるべき。

答 プロジェクト化はしないが、赤とんぼ、露風、碧川かたは全国に誇る資源。「まち未来創生戦略」の基本目標「人口還流」の主な取組「観光振興と魅力発信」への位置づけを検討中。さらなる魅力発信は、観光誘客、定住・交流・関係人口の増加につながるため、地域の持続的な発展の戦略的な取組を行う。

子育て支援として働きやすいスマートワーク都市へ

問 子育て世代のデジタル人材育成の取組や講座を実施できないか。保育充実に留まらず、子育て中でも場所や時間にとられない働きやすさやテレワーク、産業面の人材不足に貢献する環境づくりが重要。「子育て×デジタル人材×産業・スマートワーク」を結ぶ戦略視点で、子育て世代の移住定住、人口政策に組織横断で取り組むべき。

答 デジタル人材育成の取組や講座は実施していないが、子育て世代を含めた就労支援と人材確保に積極的に取り組む。テレワークに特化せず仕事と子育てが両立できる取組も調査研究する。審議中の「まち未来創生戦略」では分野や組織を超えた包括的取組を視野に入れている。

一般廃棄物最終処分場からの有害物（有機フッ素化合物）

問 指針超えの対策強化、隣接民間工場との調査連携について。

答 緊急対策を実施した結果、放流水の検出値は大幅に低減。中長期的対策として放流水の確実な浄化管理の継続、データの詳細分析、現地調査を通じた科学的・技術的検証を進め、検査結果の公表等、わかりやすい情報発信に努める。また、県と連携し、隣接の民間施設への調査協力を図る。



山本 直人 議員
NAOTO YAMAMOTO



テント式多目的ドームの整備について

問 約1,500人規模のテント式多目的ドームについて調査・研究する考えはあるか。

答 天候に左右されず、様々な活用ができるため、交流人口の増加や地域経済への波及効果が見込める施設として、整備の提案を民間から募集するサウンディング調査の実施について検討する。

問 国・県の補助制度や民間活力、企業連携を含め、実現する可能性を検討する考えはあるか。

答 サウンディング調査の実施の検討の中で、PFIをはじめとした官民連携による整備手法や国・県の補助金制度のほか、建設費や維持管理費等について調査・研究を進める。

問 防災面での活用を含めた多目的施設として検討する考えはあるか。

答 施設機能集約を進めるところとしている「たつの市公共建築物再編実施計画」との整合がとりにくいことや、厳しい財政状況から将来の課題としたい。

生活保護制度の適正な運用について

問 生活保護開始時の審査について。

答 申請に至った経緯・生活状況等の聞き取り、収入・資産・扶養義務者の調査、自宅訪問を行った上で、生活保護法による保護の基準に照らし、要否判定を行っている。

問 受給開始後の現状確認について。

答 国の通知を基に作成した年間訪問計画により、世帯類型や助言・指導の必要性に応じ、訪問、調査を行っている。

問 生活保護の停止・廃止の主な理由について。

答 停止の主な理由は収入の増加で、廃止の主な理由は死亡、市外への転出、就労等である。

問 適正な制度運用について。

答 法令・保護の基準・通達を網羅した生活保護手帳の活用、年間訪問計画に基づく訪問、調査の実施、毎年兵庫県の監査を受けるなど、適正な制度運用を行っている。